

## 平成 26 年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通しについて

札幌市では、生活に密着した食品や石油製品等の生活関連商品の価格の動向を的確に把握し、市民に情報提供するため、生活関連商品価格動向懇談会を開催し、年末年始における生活関連商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

### 記

#### 1 協力を得た業界団体及び事業者

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| (1) 丸果札幌青果(株)   | (5) (一社)北海道 LP ガス協会石狩支部 |
| (2) カネシメ高橋水産(株) | (6) ホクレン農業協同組合連合会       |
| (3) 札幌食肉卸業協会    | (7) 北海道製麺協同組合           |
| (4) 札幌地方石油業協同組合 | (8) 日糧製パン(株)            |

#### 2 調査時期

平成 26 年 12 月上旬 (平成 26 年 12 月 4 日、上記 (1) ~ (5) の 5 団体と懇談会を実施)

#### 3 概要

##### (1) 青果物

調査品目の 18 品目中、前年並みは 7 品目、やや安値は 6 品目、やや高値は 5 品目であった。

10 月の台風、集中豪雨があった産地の葉物等についても、12 月末には順調な回復、出荷が見込まれる。全般的には安値傾向。

##### (2) 水産物

調査品目の 14 品目中、前年並みは 5 品目、安値・やや安値は 2 品目、高値・やや高値は 7 品目であった。

前年並み・やや高値については、円安の影響による輸入に係る原料高。高値については、生産量は落ちていないが、海外需要の増加により国内相場も吊り上げられている。

##### (3) 畜産物

調査品目の 7 品目すべてが高値・やや高値であった。

牛肉は国産、輸入ともに頭数減による高値。鶏肉は、海外での賞味期限切れ鶏加工品問題等の影響により輸入物が敬遠され、国産物の引き合いが強い。鶏肉、豚肉に関しては、年明けには多少安くなる見込み。

##### (4) その他食料品

ラーメンはやや安値、もち米、黒豆、鶏卵、生そば、小麦粉、パンは前年並みであるが、そば粉はやや高値となる見込み。

##### (5) 石油製品

全ての石油製品について、原油価格、為替変動等の影響を受けるため先読みは難しいが、今のところでは、灯油は安値、レギュラーガソリン、軽油、プロパンガスは前年並みと見込んでいる。また、在庫量は充分にあり供給不足の懸念はない。

## 平成 26 年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

(札幌市消費者センター)

	安値	やや安値	前年並み	やや高値	高値
青果物		みかん にんじん はくさい ばれいしょ たまねぎ レタス	生しいたけ ごぼう 里いも みつば きやべつ 長ねぎ きゅうり	れんこん だいこん たけのこ (缶詰) ほうれん草 さつまいも	
水産物	赤えび	こんぶ	味付数の子 いくら 飯寿司 まぐろ たこ	新巻さけ いか たらばがに スモークサーモン 板かまぼこ	はまち ほたて
畜産物				輸入豚肉 輸入鶏肉 ロースハム	国産牛肉 輸入牛肉 国産豚肉 国産鶏肉
その他 食料品		ラーメン	もち米 黒豆 鶏卵 生そば 小麦粉 パン	そば粉	
石 油 製 品		灯油	レギュラーガソリン 軽油 プロパンガス		

※ 価格見通しの用語基準

- 前年並み = 前年同期比±5%未満
- やや安値・やや高値 = 前年同期比±5～15%未満
- 安値・高値 = 前年同期比±15%以上

平成26年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青      果	生しいたけ	前年並み	石狩、胆振、根室地区中心の入荷で、作付は前年並み。作況は生育良好で前年並みの入荷の見込み。価格は前年並みの見込み。
	ごぼう		後志、十勝、胆振地区中心の入荷。生育期の天候も良く肥大傾向。太物が多く、Mクラスは少ない見込み。細物は前年並の単価高。ただし、産地降雪の際は収穫が止まるため、入荷量は天候次第。
	里いも		宮崎、熊本、千葉、埼玉産中心の入荷。九州産は生育期に降雨集中のため、作柄は不良。関東産は概ね生育順調であるが、需要期において関東産に産地偏重が予想されるため、価格はやや強めの相場展開。
	みつば		上川、渡島地区中心の入荷。 (軟白みつば) 作付はやや減少。干ばつ、長雨の影響で一部の産地で作況不良が見られる。価格は前年並みを見込む。 (水耕みつば) 作付は減少。入荷量は減少の見込み。価格は前年よりやや高めの見込み。 (刈りみつば) 作付はやや減少。干ばつ、長雨の影響で一部作況不良が見られる。
	きゃべつ		愛知、上川地方中心の入荷。 (愛知産) 作付は前年並み。作況は生育順調で、8玉中心の入荷。 (上川地方産) 作付は前年よりやや減少。作況はチップバーンやゴマ症等の生理障害により正品率は低い。昨年同様大玉傾向の出荷となる見込み。
	長ねぎ		群馬、埼玉、茨城、秋田、福島産中心の入荷。作付は各地とも前年並み。作況は概ね生育順調で、入荷量は前年並みを見込む。
	きゅうり		宮崎産主力の入荷で作付は前年並み。ハウス物の作況は気温の寒暖差の変動にもよるが、大きな落ち込みは無い見込み。価格は前年並みの見込み。
物	みかん	やや安値	和歌山産主力で佐賀、広島産の入荷。 (和歌山産) 極早生が当初は少ない見込みであったが、前年比1~2割増の出荷量となり、早生以降についても前年を上回る出荷が見込まれる。12月中旬以降についても、順調な入荷が見込まれる。M中心の入荷となる見込み。 (佐賀、広島産) 本年は裏作にあたり産地にもよるが前年の60~80%の作況となる。前年に比べ若干大玉傾向となる見込み。
	にんじん		千葉、茨城、熊本産中心の入荷。秋から年内においては各地とも順調な入荷の見込み。価格は平年よりやや安値推移が見込まれる。

平成26年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青	はくさい	やや安値	茨城産主力の入荷。作付は前年並み。作況は生育順調で、4玉中心の入荷。
	ばれいしょ		後志、十勝地区中心の貯蔵物の調整出荷となる。作況は小玉傾向。価格は前年より単価が下回る見込み。
	たまねぎ		空知、石狩、上川、網走地区中心の貯蔵物の調整出荷となる。玉回りは各地まちまち。不作であった前年を下回る相場展開になる見込み。
	レタス		静岡、兵庫、香川産中心の入荷。作付は各産地とも前年並み。作況は10月の2度の台風で静岡は若干の被害はあるが、生育期の適度な気温により生育は良好も今後の冷え込み次第で展開は大きく変わる。
果物	れんこん	やや高値	茨城産主力の入荷で作付は前年並み。作況は玉の肥大が悪い場所もあり、Mクラスは前年と比べやや少なめの見込み。入荷量は前年並みを見込むも価格はやや強めの見込み。
	だいこん		千葉、神奈川、静岡産中心の入荷。 (千葉産) 作付は前年並み。作況は生育も良く2週間ほど前倒し傾向。これからの天候次第で中旬以降出荷数量が減る可能性あり。 (神奈川産) 作付は前年並み。作況は概ね生育順調。 (静岡産) 台風により、若干播き直し等があり、例年下旬からの販売だが、間に合わない可能性もある。
	たけのこ(缶詰)		中国産主力の入荷。入荷量は前年並み見込み。価格はやや高値の見込み。国産は福岡産主力の入荷。入荷量は減少する見込み。価格は前年よりやや高値の見込み。
	ほうれん草		群馬、埼玉、茨城産中心の入荷。作付は今年2月の大雪の影響により、ハウス作型は前年より減少の見込み。作況は生育良好で、入荷量はほぼ前年並み見込み。
	さつまいも		茨城、徳島産主力の入荷。 (茨城産) 「紅あずま」「紅はるか」は小玉多くMクラス中心。大玉は少なく単価高の見込み。 (徳島産) 「金時」は小玉傾向。価格は平年並み見込み。

平成26年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
水	味付数の子	前年並み	産地によっては高値の原料もあるが、全体的には前年並みの販売価格になると見込まれる。
	いくら		輸入卵の減少や秋鮭の不漁などの要因が重なり、昨年並みの価格。
	飯寿司		原料はやや高値だが、製品価格は昨年並み。
	まぐろ		天然物は漁獲制限や漁獲量の減少で輸入量は減少するが、価格は前年並み。国内養殖は安定供給で価格やや安値。国外養殖は入荷、価格、前年並み。
	たこ		水揚げが不安定なことや冷凍煮タコの浜在庫も少ない状況から国内産の価格は高騰する。国内産の生冷タコの在庫が多いために生冷タコは下落。
産物	赤えび	安値	昨年同時期の7割程度と安値である一方、中国の買い付け強く、年末に向け相場は強含み傾向。
	こんぶ	やや安値	昨年より生産量が増加したが、1等検等の上物が少なく、思ったほど価格が下がらず、昨年よりはやや安値。
	新巻きさけ	やや高値	北海道の秋鮭の水揚げは10月以降昨年に比べ減少続きで価格高騰と輸入鮭鱒の高値推移で国内需要増となり若干の高値が予想される。
	いか		昨年よりやや多めの水揚げだが、原料高のため、価格やや高め。
	たらばがに		ロシアからの搬入減、国内在庫数量も多くなく、ロシア、アラスカ産ともに為替の影響もあり、輸入価格の上昇に伴い若干高値での予想。
	スモークサーモン		ロシアからの原料減及び国内秋鮭の原料も高値。製品の荷動きも高値で鈍いと見込まれる。
	板かまぼこ		すり身原料、為替の影響で高値。製品に関しては量目調整により販売価格は昨年並み。
	はまち	高値	浜高のため昨年よりは高値になると見込まれる。
ほたて	輸出中心の流れから国内流通できる数量が激減しているため高値。		

平成26年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
畜	輸入豚肉	やや高値	国産豚肉不足予想から、チルドポーク輸入量が増加。ただし、円安の為替状況から、価格はそれほど下がっていないが、国産に比べて安く、12月上旬の販促商品の中心となり、後半は国内物と予想。
	輸入鶏肉		他の輸入品同様、円安影響による価格上昇となっている。年内に関しては、現状で推移されると見込む。
	ロースハム		原料価格等（国内、輸入物）の上昇で、その分上がっている。
産物	国産牛肉	高値	農家戸数の減少による肥育素牛の減少（出荷予測：80%）、及び飼料価格の高騰により、例年になく高値価格展開が予測される。
	輸入牛肉		自国飼料価格高騰によるアメリカの肥育頭数は減っており、オーストラリア産牛肉がアメリカへ輸出されている現状。また特に中国中心としたアジア諸国の買い意欲が強く、現地価格は下がる気配はない。更に円安の為替状況も輸入価格の押し上げとなっている。
	国産豚肉		豚流行性下痢（PED）の影響で、出回り頭数が例年より減少。年末需要の高まりとともに徐々に高騰していくと見込まれる。
	国産鶏肉		ファストフード等で、中国物、賞味期限切れ問題があったことで、国内物の引き合いが強い状態が続いている。牛肉・豚肉の高値が続いているので、非常に底堅い状況。価格上昇に品不足は避けられない状況。

平成26年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
その の 他 食 料 品	もち米	前年並み	主産県において作付抑制が進んだことに伴い、自由米相場が上昇しているものの、大手の需要者は原料を安定的に確保しているとみられ、末端価格は前年並みが見込まれる。
	黒豆		作付面積の減少により、供給過剰な状態から解消されつつあり、前年産と同程度の価格帯で出回るものと見込まれる。
	鶏卵		年末の需給は堅調に推移すると想定され、相場は前年並みと見込まれるが、加工筋及び本州からの引き合いが強まれば、やや高値に向かう可能性もあり。なお、年始は今年並みか、やや安値の展開と見込まれる。
	生そば		輸入そば粉使用は前年並みからやや高値。道内そば粉使用は前年並み。地域限定はやや高値。消費者や店舗側の低価格志向により卸値は変わっていないが、店売は実質の値下げになっていることが多い。
	小麦粉		政府の小麦売渡価格は昨年上昇したが、今年は小幅な動きにとどまり、輸入小麦、道内小麦共に前年並みが見込まれる。
	パン		原材料価格の高止まりに加え、光熱費、人件費も上昇しているが、消費者の節約志向は根強く、前年並みの見込み。一方で、原材料にこだわったプレミアム製品も一部で浸透しつつある。
	ラーメン	やや安値	輸入小麦使用、道内小麦使用共に店舗間の競争や消費者の低価格志向により消費税（8%）抜きにすると実質の値下げ、安値になっている。
そば粉	やや高値	今年の道内産そばの出来は平年並みだが、地域限定そば粉はやや高値。	

平成26年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
石 油 製 品	灯油	やや安値	在庫も含めて供給面では問題なし。
	レギュラー ガソリン	前年並み	在庫も含めて供給面では問題なし。
	軽油		在庫も含めて供給面では問題なし。
	プロパンガス		輸入価格の上下動並びに為替変動による影響があるが、今のところ前年並みで推移すると見込まれる。供給量は確保されており、供給不足となる懸念はない。